

Mランド ニュース

雨けふる あじさいの咲く母の庭



編集・発行
Mランド 益田校
発行責任者 谷口 ひとみ

〒699-5131
島根県益田市安富町 3330-1
TEL 0856-31 5050
FAX 0856-25 1540
HP <http://www.mland-masuda.jp/>
Email info@mland-masuda.jp



皆さまからのご意見ご感想を
お待ちしております

【 Mランド歳時記 】 7月...【100kmチャレンジウォーク】

どんな困難にも立ち向かい、それを乗り越える精神力を身につけること。また、感性の時代に向け、自然と一体となって歩き、己の限界を超えることにより、知性・理性だけでなく、感性を磨くことを目的とし、社員十数名がサポーターと共に初の

Mランドまつり&ブライスの集い

卒業生を迎え盛り上がったMランドの二日間

今年で二十六回を迎えたMランドまつり、テーマは「かつこいい」まつりでした。梅雨のこの時期、最高の天候に恵まれ開催することができました。

大茶会

六月十三日(土)は、朝十時より小河会長の自宅において、重森三玲氏により作庭された庭を愛でる「観庭の茶会」が催されました。

茶会に合わせて、みどり摘みが終わった庭に打ち水がされ、来られた八十余名のお客様の心を魅了しました。



迫力ある石組と丹精なお庭に、暫し足を止められるお客様。

Mランドファンの集い

「わたし、映画をつくる！」

第二回Mランドファンの集いでは、「1/4の奇跡」本当のことだから」を制作した入江富美子さんの「講演会」を開催しました。

養護学校教諭の山元加津子さんの生き方に感動した入江さんは、会う人ごとに「わたし映画をつくる」と宣言し続け、そうするうちに「お手伝いさせてください」「私でできることがあれば」と、協力者が増え、映画は完成しました。まさに有言実行の時代です。



講演で全国を飛び回っている講師の入江富美子さん。

講演会に引き続き、「第二回Mランド大同窓会」が開催されました。

同窓会当日は、全国各地から約百三十名の卒業生やその家族、友人の方たちが参加され、いつものイベントで用意されるMランド屋台村で食事を取りながら、懐かしのイベントを楽しみました。

イベント終了後、「座談会」を開催、各年度の卒業生たちが交流をはかり、新たなソウルメイトの輪が広がった一幕も見受けられ、とても有意義な会となりました。

まずは腹ごしらえ、「今回はどんな食べ物を用意されたのかな？」



重美塾第一号参加者の石井千絵さん(左)とステージで懐かしの再会、九年前を思い起こす初代塾長の青木さん(現クッキングフーズ社長)。



イベント最後、輪になり肩組んで「ソウルメイト」を合唱。肩車されている赤ちゃんも将来はMランドの卒業生かな？

Mランド国王の小河会長を囲んで記念撮影。



車座になって、大いに盛り上がった座談会でした。

まつり

翌六月十四日(日)は、朝から快晴、全国各地から駆けつけてくれた卒業生のボランティアの力も借りて、盛大なまつりとなりました。

今回参加してくれた卒業生の中には、プロとして芸能活動をしている「SISSEY(シッシー)こと穴戸優さんや「TOMORO(トモロー)」



Mランド模擬店に「広島風お好み焼き」の新メニュー誕生、張り切って焼くMランドスタッフ。

ペダルをこいで動くメリーゴーランド、「お父さん、しっかりこいでよ！」



来場者を楽しませてくれた穴戸優さん(右)と淵上姉弟(中央)、右円内は向井朋郎さん。



益田市の福原市長も「市長と語ろう」のブースを会場に設け参加された。



地元よさこい踊りの「蟠竜踊り隊」から元気をもらいました。



最後に、来場者全員で「ふるさと」を大合唱しました。

会長のひびき



小河 二郎 会長

「当事者意識」

知らずして われも撃ちしや

春開くる

バーミアンの野に み仏は在らず

美智子皇后陛下の歌の中から、このようなものが目についた。七、八年前のことです。アフガニスタンでタリバンが四、五十メートルもある仏像を撃ち倒した人無きが如き暴挙を思い出すと同時に、また美智子様をすべてを超越した優しさで地球上に起こるすべてのことに心を痛められる、当事者能力とでもいうのか、広い御心に心打たれました。

今、宮中で皇太子妃をめぐっているという問題があるらしい、東大出身の外務省の役人の頭では、この歌は理解できないのではなからうか。失言お許しください。

また今、CO₂(二酸化炭素ガス)の排出をはじめとする環境問題で大きくゆれ、日本も脱下請、当事者意識、自主自立に向けて動き出した。

Mランドもこの益田の地で、この場所で最高の生き方を模索していかなければなりません。世界の人々が認める常識と美意識の中で、全国から人が集まる教習所を創り上げていくのです。そうしてそれは日々の平凡な行動、あれもこれもでなくてよ

い、自分にとって一番やりやすいことを一つ徹底してやり続ける、その努力が私たちの心、精神、志を高めることに繋がるのではないでしょう。その平凡な行動を平凡な行動の中で自分は勿論、他人もアレツと分かるように画然と変革することにあります。

Mランドは、「無心山」を中心としたまったく新しい森のコースを完成させることです。「迷路」も「ヨガの森」もこのコースを応援するためのものです。このコースがで上がることによって、「大型コース」も「二種コース」も全部活き返って、一年中使える、本当にお客様の役に立つコースになります。そのコースは、ハードのコースだけ造れば完成という訳にはいきません。ソフトの「ヨガの森」、三つの「迷路」そしてゴルフ練習場「スカイヒル」や岩盤浴、カフェ「ミロ」や食事や駐車場、環境問題全部を考えながら完成してい

きます。薬の処方箋を作成するのはなく、健康体そのものを創り上げていくためのものです。始めの皇后陛下の歌を、もう一度読み返してみてください。広い当事者意識が私たちに求められているのです。

お出かけサポート

進化したPD(ペーパー
ドライバー) 講習

「高速道路を使いたいのですが、一度も走ったことがないので高速道路を走る講習などはありませんか?」、ETC割引が開始された直後に数件、こういった問い合わせがありました。以前ならコストも時間も必要なお断りさせていただいていました。しかし、少子化問題、若者の車・

免許離れと教習所に逆風が吹くうえ、百年に一度の大恐慌の到来という世界情勢の中、全国で現在約千四百校の教習所がこの先ますます減少していくことは必至です。『新しい商品・既存の商品を進化させる商品』が必要とされ、お客様の要望に応え、高速道路及び広島市街を走行する講習「お出かけサポート」を実施することになりました。

今年三月に「ハイ・サービス日本300選」という栄誉ある賞を教習所として初めて受賞しました。しかしながら、「これで一安心」とあぐらをかいていられる訳でなく、受賞後すぐさま理念の内容を改めるところがMランドらしく、今度は、「世界300」を目標することになりました。今まで以上に「会社本位からお客様本位」であり続けることが必須となります。PDを進化させた「お出かけサポート」は決して主力商品とはなりません。『お客様本位』を実現させるワンステップであると考えています。(営業/矢次)

ホテル観賞ツアー

この時季、夜のお楽しみとしてMランドから車で二十分ほどの所にあるホテル観賞の穴場に、ゲストの参加希望を受け出しました。都会から入校したゲストは、初めて見るホテルに感動、田舎育ちのゲストも久しぶりに見るホテルに大はしゃぎで喜んでいました。

ホテル観賞ツアーに参加されたゲストの皆さんからの感想文です。

ホテルの多さにすごく驚きました。あんなに多くのホテルを一度に見たのは初めてで、めちゃキレイで参加

Ver.31 《ももたろう第7話》



して本当によかったです。

教習以外で外に出ることがなかったので、よい気分転換になりました。(中略)この時季に免許を取りにきて、本当によかったなと思いました。(教習生・穴水さやかさん)

島根県に初めて来て、島根がこんなにキレイな町やとは思いませんでした。なので、このホテルツアーも楽しみにして参加させてもらったのですが、ヤバイです。めちゃ癒されたし、生まれて初めてホテルを見たのですが、それも感動で…。島根の人たちは、こんなキレイなホテルのいる景色を見られてうらやましいです。

デートにも、癒しにも、悟りにも、語る場にもいいなあと思いました。(教習生・安藤 和実さん)

教官に誘われ、ホテルツアーがあることを知り参加しました。始めは暇つぶしになるし、ホテルを見たことがないからいい機会だなあと思いい参加させていただきましたが、想像以上の美しさと感動でした。

川沿いで光るホテルは、本当に幻想的で、夜空が目の前にあるような感覚になりました。(中略)都会では絶対できない体験なので是非参加すべきだと思います。(教習生・西尾 真由美さん)



カメラのせいかわ腕のせいかわホテルも一緒に撮ったつもりがご覧のとおりの結果でした。

編集後記



Mランドまつりに参加された人たちの夢と希望が空高く舞い上がりました(谷)

Mランドストーリー

12



キャビンの左にライオンの顔が描かれている大型教習車。

「ライオンカー」

Mランドでは、大型自動車・けん引自動車・大型特殊自動車のことをライオンカーと呼んでいます。

これらの特殊車種は、普通車を運転するドライバーから見れば、道路の上においては、怖いライオンのような存在です。大きな車は、視点が高いため、どうしても普通車に対して

見下した考えがちですが、道路上では、すべての車が平等でなければなりません。Mランドでは、普通車の方に、誰もが持っている良心・優しい心、愛(やわらぎ)の心を持って運転していただくように呼びかけています。が、大型を運転する方には更に、「ノープレス・オブリージュ」の精神で運転していただくようお願いしています。「ノープレス・オブリージュ」とは、英語とフランス語の造語で、直訳すると「高貴な聖なる義務」といい、高い地位におけるものは、その地位にふさわしい振る舞いをしなければならぬという意味です。特殊車種を運転する際には、力強く恐れをもつて見られていることを忘れないでください。普通車や二輪車、歩行者をいたわり、思いやりのある運転を心掛けましょう。